

一粒一粒に願いを込め
春作業始まる
(杉沢ファームの皆さん)



秋田県五城目町
朝市と城のある町

みんなの町議会

主な内容

- 3月定例会の概要 2～3
- 一般質問に10名登壇 6～16
- ようこそ議会傍聴へ 18
- わたしの居場所・がんばってます ... 20

Contents

No.162
2025.5.1

議会の経過



荒川滋町長就任後、初の議会となる3月定例会は、3月10日から18日まで9日間の日程で開かれた。

初日

2月の町議会議員補欠選挙での石井和歌子氏当選に伴い、議席の指定と変更、常任委員・議会広報編集委員の選任を行った。

施政説明に先立ち荒川町長は、町の新たな舵取りを担う決意と澤田石副町長に引き継ぎ職務を遂行していただくことを述べた。

その後施政説明で、
○税務課と出納室を統合し、税務会計課に。健康福祉課内に、こども担当を設置。
○広域乗合タクシーの五城目地区への利用拡充。

○デジタル専門監3名任用。
○ごみ処理の広域化。
○消防指令システム更新による消防力強化。
○五城目町こども計画、農地利用を明確化する地域計画策定。

○全国朝市サミット11月開催。
○下水道事業内水浸水対策推進。
などを述べた。

続いて畑澤教育長が、

○新たな指導方法確立のための教職員研修の実施。

○「子ども議会」「夏休み子ども体験塾」の開催や、地域と連携した特色ある取組の推進。

○統合型校務支援システムの運用開始。

○教育留学の推進。

○学童保育「すずむしクラブ」受け入れ対象を全学年に。

○矢田津世子遺稿集「みぞれ」と童話「賢いめだかの兄弟」の絵本・紙芝居の完成。などについて述べた。

2日目

一般質問に6名が登場。町長の公約について、五城目高校の存続、朝市活性化、町長のビジョン、県道4号線の舗装改修、町政への民間力活用などについて質問した。

3日目

一般質問に4名が登場し、給食サービスの充実、障がい者の人権、若者定着への対策、買い物弱者支援などについて質問。その後、当局より令和7年度一般・特別会計当初予算案など議案30件が上程された。

4日目～5日目

各常任委員会

最終日

各常任委員長報告のあと、全議案を可決、承認。陳情2件を全会一致で採択、1件を不採択、1件を賛成少数で不採択。
委員会提出議案3件を可決し、人事案件1件に同意した。
また、秋田県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙を指名推薦で行い、荒川町長を指名し閉会した。



(椎名 志保)

「効率的で持続可能な事業」を実施

財源確保に一層注力

予算概要

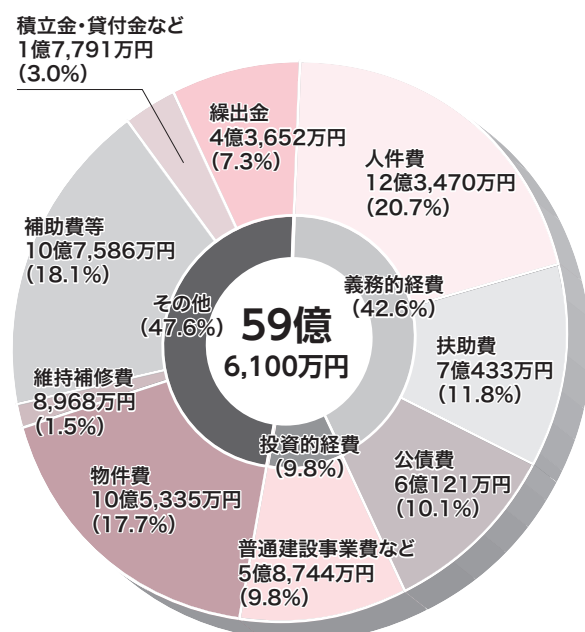
令和7年度一般会計当初予算は、自主財源が2割程度であり、地方交付税や国県支出金が全体の8割を占めている。

財政力指数は0.24で、全国自治体ランキング(1747市町村)1349位となっており、町税をはじめ、自主財源を生み出す力が依然として弱い状況が続いている。ふるさと納税の推進や企業誘致、起業促進プログラムなどが重要な課題である。

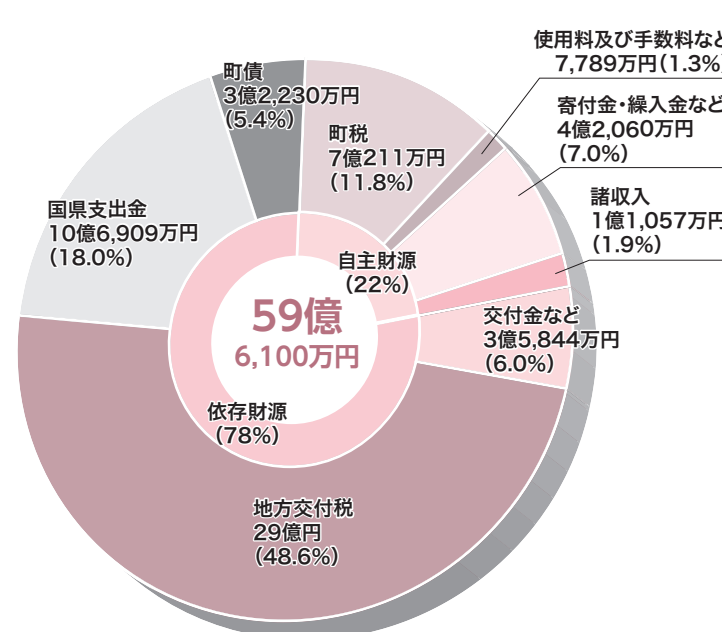
財政状況全体としては、コロナ禍、水害を経て通常通りの当初予算に戻りつつある。人口減が続く中、国・県の有利な補助事業を活用し、費用以上の効果を生み出す事業に全力で取り組むよう議会でも注視していく。

前年度に比べ、2億7600万円の減

一般会計の歳出(性質別)



一般会計の歳入



◆令和7年度の主な予算◆

各施設照明器具更新事業(LED化など)	4727万円	全国朝市サミット開催事業	110万円
デジタル専門監配置事業	1752万円	道路整備事業	1億3131万円
防災マップ更新作成事業	663万円	過年災害復旧事業(廣徳寺橋ほか)	1549万円

長寿祝い 町長訪問を継続へ

五城目町寿条例の一部を改正。満100歳の祝い金10万円は継続し、満90歳への2万円は廃止する。

当局より「90歳の祝い金を2万円から1万円分の商品券に変更。敬老福祉の集いにて贈呈」と説明があった。委員からは「財政的な理由か、訪問対応の困難さが原因か」と質疑があり、当局は「高齢化により対象者が増加し（令和7年度は90歳になる方が101人）、現金での支給は管理上の課題も大きい」と答弁。住民へ直接ヒヤリングを実施していないことも明らかにした。

【町長・副町長の出席を2度求める】

委員から「就任直後であり、町長はどう考えているのか。町として高齢者施策への姿勢は」と質疑があり、町長から「喜びを奪う意図はない。厳しい財政の中、健康寿命の延伸など幸福度を高める施策に注力する。今回の見直しは苦渋の決断」と答弁。副町長からは「福祉施策全般の見直しを踏まえた措置」と答弁があり、議案は賛成多数で可決した。

その後、具体的な対応を問うため、再び町長・副町長に出席を求めた。

委員より「これまで、希望者には町長が直接訪問し、町広報にも写真掲載していた。楽しみにしている町民も多い。敬老福祉の集いへ足を運ぶのは困難な人もいる。高齢者に敬意を表し寄り添うべき。検討ではなく、方針をこの場で示してほしい」と指摘があり、町長から「満90歳の方に対して、祝い金は商品券に変更するが、これまで通り希望者には、町長の訪問と町広報への写真掲載を行う方針」と答弁があった。

教育民生 常任委員会

廣徳寺橋復旧工事工期延長



橋台新設工事の現場

廣徳寺橋橋梁災害復旧工事（橋台撤去、新設工事）は令和7年3月31日までの工期であったが、能登半島地震や県内各地の災害復旧工事が多数ある影響から仮設資材の搬入や施工関連業者の現地入りなど予定していた工程に遅れが生じ、工期を7カ月間延長し令和7年10月31日までとする。

また、上部工事も橋桁製作期間と橋桁架設後に施工される仮設堤防や仮道の撤去に時間を要することから、工期を令和8年3月20日までとする。

委員から「別工種であり同時併行で進められなかったか」との問いに「施工ヤードにある敷き鉄板の撤去や圃場の復旧に重機が必要なことから、仮設道路は最後まで残さなければならぬ。門前側工区すべて原型に戻った段階で仮橋撤去、仮道路撤去と進んでいくことから、3月20日まで時間を要する」と答弁があった。

総務産業 常任委員会

岩手県大船渡市で令和7年2月26日に発生した林野火災に際し、町消防本部は緊急消防援助隊を派遣。

委員より近況を問われ、当局から「3月14日時点で、6次隊を現地に派遣。1班6名体制で3泊4日。巡回・警戒・消火・残火処理などの任務を遂行」と報告があった。また、当町で購入した資機材搬送車が有効に活用されたことを確認した。

緊急消防援助隊を大船渡へ派遣



すずむしクラブで学習タイム

すずむしクラブ全学年対応へ

児童保育「すずむしクラブ」の受け入れ対象を全学年に拡大。高学年の学習支援と放課後の居場所を担っている「わかすぎクラブ」は、支援員不足により休止する。委員からは「全学年受け入れに際し、収容人数や支援員体制は十分か。勉強時間が確保できるのか」との質疑があり、当局からは「建物は130名まで対応可能で支援員数も確保済み。学習時間も設定している」と答弁があった。

また、「わかすぎクラブは廃止か」との問いに「支援員の確保ができれば再開する方針」と答弁があった。

赤倉山荘は、建物の耐用年数も過ぎ、指定管理期間が令和8年度に終了することから、委員8名で構成する赤倉山荘存廃検討会（年4回開催予定）を設置開催し、令和7年度末までに存廃についての検討結果を示す。

委員から「検討会で存続となった場合、町で対応する意欲はあるか」の問いに、「結果が存続の場合は将来的な建て替えを計画するが、しばらくは修繕での対応となる。廃止の場合は早ければ令和8年度に廃止となる可能性もある」との答弁であった。

赤倉山荘をどうする



方向性が問われる赤倉山荘

（石川 重光）



五城目外環状線（町村付近）

令和7年度に実施される道路工事

- 地方道路整備工事（交付金）
- 事業費 1億1628万円
- ・五城目外環状線舗装改良工事
- ・寺庭橋橋梁補修工事
- 単独道路整備事業
- 事業費 1502万円
- ・蓬内台公民館道路改良工事
- ・西磯ノ目幹線側溝改良工事
- ・樋口下樋口線舗装補修工事



無事任務を終え、活動報告会

（佐沢由佳子）

選挙公約の内最重点施策は

町長 災害に強い町にする

- ① 防災・減災対策・河川整備と維持工事、樋門管理の徹底を県、関係団体へ強く要望していく。
- ② 町民の声が行政に届きやすくなるよう「町内会長と町長とのホットライン」を構築。町で暮らす人々のコミュニティ強化を図る。
- ③ 妊娠から出産育児までの伴走型支援を進化させるため、子育て総合支援施設を設置する。
- ④ JAや土地改良区、中間管理機構などとの連携を深め、農地の集約化と担い手確保に努める。
- ⑤ 伝統文化継承を図るべく、

最重点施策5つは

中村 町長は5本の柱45の施策を公約に掲げていた。最重点と位置づける施策を5本の柱から各々一施策を問う。

町長 ①防災・減災対策・河川整備と維持工事、樋門管理の徹底を県、関係団体へ強く要望していく。

②町民の声が行政に届きやすくなるよう「町内会長と町長とのホットライン」を構築。町で暮らす人々のコミュニティ強化を図る。

③妊娠から出産育児までの伴走型支援を進化させるため、子育て総合支援施設を設置する。

④JAや土地改良区、中間管理機構などとの連携を深め、農地の集約化と担い手確保に努める。

⑤伝統文化継承を図るべく、

あなたにかわって
聞きました

一般質問



なかむら 中村 つかさ 司

一般質問動画はQRコードから

地域経営の根幹は人材

町に唯一残る「山内番楽」の継承支援を早急に対処する。

中村 早期退職者が2年続けて多数発生している。町長の受け止めと、人事管理の課題と改善策は。

町長 個人の事情や考え方もあるが、職場環境などに起因する部分もあると真摯に受け止めている。今後は5年以内での異動を基本とし、併せて業務のDX化など行政改革の推進で職員の負荷軽減を図り、魅力ある職場にする。

中村 今年度末の早期退職者が多数であることを受けて、随時採用枠（職務経験者）募集を2度実施している。随時採用は多才で有能な人材確保のチャンスである。人材確保には時間と費用をかけるべきではないか。

町長 職務経験者の採用は町が直接実施しており、有資格者や様々なスキルを持つ職員採用に成果があったと考えている。

今後は実施時期、内容、回数など、新卒者採用と併せて検討を深め、効率的、効果的な採用方法を探っていく。

真に必要な支援を

中村 当町における出生数は令和3年度21人、4年度17人、5年度14人、今年度2月末現在12人と減少傾向に歯止めがかかっていない。「圧倒的に子育てを応援する町」として、病児・病後児・体調不良児対応型保育実現に向け、積極的に取り組む考えはないか。

町長 子ども・子育て支援事業ニーズ調査では、「可能であれば病児・病後児保育などを利用したい」は60・9%である。今後、病児保育を実施している施設の運用状況などを参考にし、湖東厚生病院との連携も視野に入れ、利便性向上のために取り組む。



病児保育にもりやまこども園の活用を

もりやまこども園 園庭の解放を

中村 「遊び場の整備へのニーズが高い。町長は「複合遊具を兼ね備えた子育て総合支援施設や「子どものびのびゾーン整備」を掲げている。しかし実施には多額の財源と期間を必要とする。子どもの成長は待てない。既存施設の有効利用の観点から土・日・祝日に、もりやまこども園の園庭の解放が出来ないか。

町長 もりやまこども園の土曜保育を妨げないよう日曜日や祝日限定とすることや、管理人を配置し、遊具などの安全点検や事後の確認、保護者同伴を原則とし動物の同伴は認めないなど、利用の制限が多く、解放するには困難である。町では雀館公園「帯を」子どものびのびゾーン」として、遊具設置により、こどもの居場所・遊び場として整備する考えである。



こどものいない休日の園庭

一般質問

10議員が登壇

我が町政を問う

一般質問とは？

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

中村 司 議員

- 公約5本の柱と45の施策について
- 地域経営の根幹である、ヒト（人材）について
- こども、子育て支援事業について

佐沢由佳子 議員

- 五城目高校の存続を図ろう
- 町公式LINEの設置は
- 空き家対策について
- 乗り合いタクシーの利用状況は

石川 重光 議員

- 朝市活性化に向けた新町長の取り組みについて

松浦 真 議員

- 新しい町長のビジョンは
- 新しい町長のブレーンは
- 公共交通の利用状況は
- ごみ、水道の料金は
- 町外・国外の宿泊者税の設立を
- 人員採用状況と役場の雰囲気改善を
- 子ども議会子どもが使える予算を
- 災害に強い町にするために
- ゼロ予算で実施できる事業はないのか

工藤 政彦 議員

- 県道4号線の舗装改修について
- 除雪作業後の構造物等の破損対応について
- ふるさと納税について

椎名 志保 議員

- 民間の力を町政に
- 立地適正化計画のねらいは
- 圧倒的に子育てを応援しよう
- 有害鳥獣対策の強化を
- 誹謗中傷のない町に

斎藤 晋 議員

- 老人が元気な町・老人が安心して長生き出来る町にするため、給食サービスの充実を
- 子ども食堂・老人食堂を作り、子どもの居場所・老人の居場所を作るべき
- がっこ茶っこの文化を守るために町の加工所を作るべき
- ふるさと納税について
- 森山登山道を早期に整備すべき

石井和歌子 議員

- 荒川滋新町長へ これからの町政について
- 障がい者の人権について
- ネコバリ岩までの通行止め区間について

小玉 正範 議員

- 新町長の公約について
- 国の地方創生に関連して、町の振興対策は
- 若者定着への対策
- その他の課題について確認

伊藤 信子 議員

- 買い物弱者支援について
- 朝市マラソン大会について
- 申告相談所にテレビを

* 誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。

五城目町議会映像配信 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp



（中村 司）

朝市にもっと力を入れた施策を

町長 朝市出店支援事業予算を計上



春の食材が並ぶ朝市

町長 朝市出店者が儲かる商売でなければ出店を続けることは出来ず、来場者を増やす仕掛けが必要。恒久的な市場施設を整備することについては、現在のところ検討に至っていない。

石川 買い物客から見た朝市が魅力ある買い物空間であるために、新鮮で安価な食材が揃っていること、また、天候に左右されない環境づくりが必要。

町長 朝市出店者が儲かる商売でなければ出店を続けることは出来ず、来場者を増やす仕掛けが必要。恒久的な市場施設を整備することについては、現在のところ検討に至っていない。

石川 観光朝市としての環境づくりが必要、町の考えは。観光朝市としては、生活市である通常の朝市の来場者を増やす必要がある。朝市活性化支援員の設置や朝市出店支援事業補助金などにより、出店者の増加に努め、来場者が満足されるような環境整備を図る。

あなたにかわって聞きました

一般質問



いしかわ 重光

一般質問動画はQRコードから

生活市としての朝市の充実を

石川 地元スーパーの閉店に伴い、町民は買い物に不便を感じ難儀している。生活市である朝市が充実していれば買い物不便を解消できる。朝市にもっと力を入れ、出店者を増やす施策が必要。

町長 朝市出店者を増加させ

定市場条例の見直しは

石川 定市場使用料の見直しなど、定市場設置条例改正の検討は。

町長 朝市振興委員会において、使用料や臨時朝市、家主交付金など様々な議論が展開されている。朝市振興委員会における意見を基に必要であれば条例改正案を示したい。

る施策については、新規事業として地域と朝市を結びつける役割を担う朝市活性化支援員の設置や、出店に際し必要とされるテントや陳列台の取得を支援する朝市出店支援事業に要する予算を計上し、取り組む。



今冬の鍋まつりの賑わい

五城目高校存続を図ろう

町長 存続は必ず成し遂げる

あなたにかわって聞きました

一般質問



さざわ ゆか子 佐沢由佳子

一般質問動画はQRコードから

佐沢 五城目高校の今年の受験者数は15名、80名の定員に対して0.19倍。存続を図るには、まさに今、地域との話し合いが求められている。「世界一こどもが育つまち」として、ここ10年で教育関係の移住者や関係人口がいる。様々な知見のある方を巻き込み、五城目魅力化プロジェクトを立ち上げるべき。例えば、かつてあった林業科など、特色ある科を設置することで、森林環境譲与税を活用した姉妹都市千代田区との連携も考えられるのではないかと。湖東の砦である五城目高校の活性化と今後の在り方についての協議会を立ち上げ、特色ある学びの実現、千代田区との連携強化、林業の担い手育成など、地域の課題も一緒に解決できるように急いで行動に移す準備を整える。学校はもろん同窓会など関係者と調整を行い、6月定例会での報告を一つの目途と考えている。

町公式LINEの設置は

佐沢 町公式LINEを設置することで、町内会長を含む全町民とのホットラインが出来るのではないかと。緊急情報やイベント情報発信、問い合わせや相談、町長への手紙な

す準備を整える。学校はもろん同窓会など関係者と調整を行い、6月定例会での報告を一つの目途と考えている。



湖東の砦 五城目高校の存続を

町長 デジタル専門監より「町が所有する防災情報システムを再整備し、LINEでも緊急情報が配信出来るようにすることが必要」との意見がある。まずは、すでに所有しているシステムを再整備し、その他の機能についても予算を考慮しながら、町公式LINE設置の実現に向け取り組みんでいく。



空き店舗を改装したシェアオフィス

空き家対策の進捗は

佐沢 9月定例会において、全国空き家バンクへの登録を提案していたが進捗は。

町長 空き家に加え空き地も対象とする新たな要綱を制定し、登録体制を整えている。すでに、町の基本情報は登録済み。準備ができ次第、順次物件情報の登録をしていく。

佐沢 データ入力や専門に扱う職員を採用してはどうか。

町長 令和7年度において、空き家対策に従事する会計年度任用職員の採用を計画している。空き家の情報収集や空き家バンクへのデータ入力を効率的かつ正確に行う体制を確立し、迅速な情報発信につなげる。

県道4号線（内川地区） 舗装改修を早急に

町長 優先順位向上に粘り強く取り組む



改修が待たれる県道4号線

工藤 県道4号線（内川地区）の舗装が破損し、陥没している箇所を避けるため車両が対向車線に入らざるを得ず、交通事故の危険性がある。何度も県に要望しているが、舗装改修は一向に進んでいない。
町長 県道4号線の舗装状況は把握しており、黒土から浅見内地区の舗装補修を県に要望している。今後も優先順位向上に粘り強く取り組む。

あなたにかわって
聞きました
一般質問



くどう まさひこ
工藤 政彦

一般質問動画はQRコードから

国の補助金が 対象となる工事を

工藤 凍上現象による道路舗装被害を災害査定申請の対象にすべきと提案する。町道にも同様の対応を。

工藤 昨年、県道4号線が県

単独事業であることが示され

た。「主要地方道は広域交通

を担うため、整備や維持管理

に要する費用の50%までを国

が補助することができるとな

っている。なぜ県民の税金

を使う県単独事業で行うのか

疑問に思うが、現状どうなっ

ているのか。

町長 能代五城目線の道路改

築事業は、規模が大きく必要

性・緊急性の高いものに限ら

れるという国の補助対象には

子ども議会でも 使える予算を



水道管補修工事も多くなっている

松浦 令和7年度も、子ども

議会を実施する。山形県遊佐

町のように年45万円を子ども

たちが扱い、様々な取り組み

に活かせるための予算措置が

必要では。



子ども議会の取り組みで朝市通りを活性化へ

大川の堤防工事の 着手は

教育長 子どもが提言することによって、地域は自分たちの行動で変えることができるということを実感させたい。先進地事例などを参考に、本町の小・中学生が、主体的に地域貢献活動ができるよう学校や地域、関係団体と連携し、町の活性化に繋がる取組みを支援していく。

松浦 県が管理者となってい

る大川の堤防工事の着手タイ

ミングはいつか。竜馬橋の土

砂撤去スケジュールは。また、

大川エリアの水門の管理やフ

ラップが動いてない場所の整

備は。下流からの土砂撤去を

要望する町民も多いが、町と

県の対応は。

町長 大川の堤防工事は、現

場が鉄道橋に隣接しているこ

とから、県がJR東日本と協

議中。令和7年度中の発注を

予定している。

来年度（2025年）、五

城目橋上流左右岸と馬城橋上

流右岸側の土砂や、西野橋下

流左右岸雑木の撤去を予定し

ているが、竜馬橋の周辺の土

砂撤去は現在計画にはない。

除雪作業による 被害対応は

工藤 今冬は大雪で出勤回数

が例年より多かった。除雪作

業でガードレールやブロック

塀が破損した場合、除雪業者

の保険で対応されることを知

らない町民も多い。町広報紙

などで周知徹底すべきだ。

町長 道路除雪による構造物

破損時の修繕費用は、業者が

保険使用の有無を判断し、小

規模な補修は町作業員が対応

する場合もある。町民への周

知は怠らない。

ふるさと納税の 最下位脱出を

工藤 2024年度の県内自

治体へのふるさと納税寄付額

が前年と比べて73・5%の大

幅な減少となり、県内最下位

となった。寄付額の回復に向

けた具体的な対策は。

町長 ふるさと納税の寄附額

増加のため、町の宝を活かし



災害復旧工事を待つ大川の堤防

今後も県が河川の維持工事は継続して実施する。町も県に対し、下流部の土砂撤去など要望を継続していく。

五城目高校付近から下流にある操作を必要とする水門4ヶ所は、2月17日に県、関係する土地改良区それぞれに管理協定について協議を行っている。



工藤 五城目町の返礼品は地

場産品を重視しているが、寄

付金が少ない状況は町の魅力

不足とみなされる可能性があ

る。返礼品は主要原材料が地

場産であり、製造・加工工程

が地元で行われるもの。ふる

さと納税の趣旨を損なわずに

返礼品の柔軟性を高めること

が重要な課題となっている

が、当局の見解は。

町長 より効果的なふるさと

納税に改善していきたいと考

えている。

工藤 返礼品の新しい商品化

にも努力し、是非とも県内最

森山登山道を早期に整備

町長 森山愛は誰よりも強い



「通行止め」看板

斎藤 森山登山道が整備されず困っているのは、町民であり森山を愛する人々である。整備されず危険だと言われても多くの人が登っている。町は責任を恐れて尻込みしているのでは。

あなたにかわって
聞きました
一般質問



一般質問動画はQRコードから

森山愛はここにいる誰にも負けていないと思っている。今後、早期にNTTドコモ側へ管理道を何らかの方法で町が引き受ける検討を始める旨を伝え、協議の場を設置できるように、進展に向け努力する。



せっきくの山道に通行止めゲート

町長 NTTドコモと何度も協議を重ね、令和4年11月末に森山の管理道路入り口の門扉設置を決定した。「町が管理道路を購入するか、全面的に補修するといったくらいの話が無いと面会での協議はできない」との回答があった。利用者の安全管理・保証などの責任がNTTドコモ側に発生することを踏まえると、これ以上の話し合いは難しい状況である。

**ふるさと納税が県内で
ゲッパ（最下位）**
斎藤 魁新聞に五城目町のふるさと納税額が、秋田県で一番少ないとの記事が載った。この結果を見て担当課長・副町長・町長はどう思う。
まちづくり課長 大雨災害・米価の高騰・返礼率の縮小などのさまざまな要因はあるが、増加させたいと思う。
副町長 残念な結果である。人気商品の米が在庫切れになったのが減少の要因でもある。農業者が声がかげし、返礼品として出品してもらえようをお願いしたい。
町長 残念な気持ちだが、町の宝を生かすブランディングを進め、町の応援者を増やし、より効果的に寄付額を増加させていきたい。また、農業者だけでなく商工業者にも声がけし、出品してもらえようをお願いしていく。

その他に

- 老人の給食サービスの充実を
- 給食サービス申請書の簡素化を
- 給食サービスは年齢に合わせた献立を
- 給食サービスの補助金増額を
- 給食サービス提供者の値段の違いは何故
- 子ども食堂・老人食堂を作るべき
- 子ども食堂・老人食堂は町が作り民間移譲すべき
- がっこ茶っこ文化を守るため、加工所を作るべき
- 特産品開発のためにも、加工所を作るべき
- 福祉弁当を作るためにも加工所を作るべき
- ふるさと納税の使途を明確にし、SNSを駆使すべき
- ふるさと納税の返礼品を増やすべき
- ふるさと納税の返礼品などを質問した。

民間の活力を町政へ

町長 民間の力と行政の力を結集する

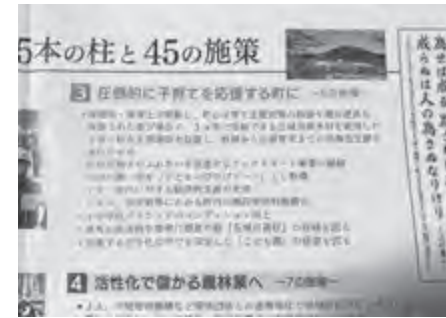
あなたにかわって
聞きました
一般質問



一般質問動画はQRコードから

椎名 今後のまちづくりには民間の知恵や力、人とのつながりを生かすことは不可欠だ。町政への民間力の活用をどう考えるか。
また、職員数は定数を満たしておらず、人材不足は明白だ。専門監などで外部人材を大いに活用すべきと提言する。
町長 民間の力と行政の力を結集して、まちづくりに取り組んでいく。令和7年度ではDX化推進のため、デジタル専門監を3名登用。また、防災対策を強化するため、退職自衛官の人材活用制度を利用し、防災監として1名採用した。今後も様々な事業展開に専門人材として、外部人材の登用を検討していく。

町長 少子化・少母化・婚姻数の減少であり、五城目に住んでいただくことが重要であることから45の施策を掲げた。財源として企業版ふるさと納税やガバメントクラウド



町長の思いが表れた公約

**圧倒的に子育てを
応援しよう**
椎名 (1)子育てにはお金がかかる。経済的な理由から家庭を持たない、持とうとしない、もう一人産むことに踏み切れないとの見方もある。町では保育料・給食費の無償化、医療費の助成を高校生まで拡充するなどの経済的支援を行っているが、少子化対策には至っていない。町長は公約で「子育て世代に対する経済的支援の充実」を掲げているが、どういった施策をお考えか。

ファンディングが考えられ、町の財政を考慮し、検討するよう指示を出す。
椎名 町長は公約の中で子育て総合支援施設の設置を掲げていたが、厳しい財政状況だ。昨年の子ども議会では、「町に自分たちの遊ぶ場所がない」「居場所がない」との発言があった。雀館公園の遊具も撤去されたまま。目の前にある課題に対しても、小学校の開放、既存施設の活用などで早急に対応するよう提言する。
椎名 (2)若い世代の移住・定住には、住まいへの支援が有効だ。情報を収集し、空き家・空き地バンクに取り組むべきでないか。
町長 全国版空き家バンクに登録し、空き家・空き地の情報発信を一層強化する。町内の宅建業者と連携し、空き家・空き地の情報登録へのサポート体制も充実させる。

有害鳥獣対策の強化を

町長 1月の富津内中津又地区でのクマ出没は、空き家数地内の柿の木が誘因したものだった。空き家所有者に対しても町の制度を活用し、敷地内の柿や栗の木の伐採助成を令和7年度も引き続き実施し、積極的に声掛けする。解体費助成制度も更に周知させ、所有者に働きかけていく。
椎名 イノシシ被害は農家にとって死活問題だ。対策への補助増額が必要であり、より有効な対策も提示すべきではないか。
町長 補助を活用し、所有農地に応じた対策を講じていると確認している。また、囲い罠1基を導入し、効果を期待している。



柿はクマの格好のエサ

地内の誘因樹木伐採を呼びかけるべきでないか。また、朽ちた空き家が野生鳥獣の棲み処となる不安も聞かれる。解体費の助成を増額し、空き家の解体を更に呼びかける必要があるのではないか。

キイチゴの需要増加を 把握しているか

町長 チャンスにとらえ、キイチゴ農業
振興を図る



キイチゴを町の強みに

小玉 町で生産するキイチゴの現状は。
町長 町の特産品であるキイチゴは年々需要が増加しているものの、生産が追い付いていない。栽培方法の改善などに力を入れ、収穫量の増加に取り組む。また、三菱食品株式会社と共同で商品の開発を行っている。町のキイチゴをPRするため、令和7年度に予算を計上し、キイチゴ農業振興の推進を図っていく。

あなたにかわって
聞きました
一般質問



こだま まさのり
小玉 正範
(公明党)

一般質問動画はQRコードから

小玉 これを大きなチャンスにし、若い人達の中で農業に携わる人が増えていけば、非常にプラスになる。

労働力不足 解消策は

小玉 最近では、どの業種においても労働力不足だ。県ではその改善策として、「秋田県外国人材受け入れサポートセンター」を開設した。町企業の新従業員不足を解消するため、外国人材活用促進の対策を検討する考えはないか。
町長 町内の介護施設・建設業・運輸業者などにおいて、慢性的な従業員不足にある。商工会を通じ県のサポートセンターに相談した建設業者があったが、いくつかの事情から制度の利用まではいかなかった。
湖東三町商工会からは、外国人材を求める事業者は極めて少ないと聞いている。

若者定住対策を

小玉 これからマイホームを希望する若者へ土地の購入資金を助成するなど、町定着の呼び水として対策できないか。さらに、町有地の分譲を格安で行っている事例を参考にすべき。

町長 住まいの確保策としては、「圧倒的に子育てを応援する町」の施策で取り組む。井川町では、令和5年から移住・定住対策として宅地分譲を実施し、3区画中、2区画が売却済み。当町でも立地適正化計画を踏まえ、土地の公売などに取り組んでいきたいと考えている。



石川文庫（五城館ホール二階）

教育長 平成7年度五城館のオープンに合わせ、故石川富司様のご遺族より寄贈されたもの。教育委員会で調査したところ、200冊を超える貴重な図書が保管されていて、菅江真澄遊覧記をはじめ多くの貴重な図書があることが分かった。今後、指定管理受託者や関係者と協議し、利活用を教育委員会に委託された場合には、所蔵場所や活用方法など協議していく。

文化の薫り高い 町とは

小玉 昨年から指摘している五城館ホール2階にある町民寄贈の貴重な「石川文庫」は、ずっと放置されたままである。町長の主張する「文化の薫り高い町」にするためにも、今のままではいけない。今後どのようにする意向か。

ネコバリ岩への 通行はどうなる

町長 5月16日以降通行可の予定

石井 ネコバリ岩につながる県道15号線の復旧状況と通行止め解除の日程は。
町長 崩落した路肩や法面の復旧工事は3月末までに完了予定（秋田地域振興局に確認済）。冬季通行止めが5月16日で解除となるので、それ以降は通行可の予定。町としても令和6年度にネコバリ岩周辺の流木撤去や連絡路の改修をしている。周辺施設も含め、今後情報発信をより一層積極的に進めたい。
石井 県道15号線は、水害対策や農林業・木材の利用推進などの事業に関わる重要な道路である。ネコバリ岩や周辺施設と共にこれからも注視していく。



みんなを待っているネコバリ岩

町長 ①河川整備と維持工事、樋門の管理について県への要望を続け、下流域の住民の安全安心の確保につなげる。町民の声が行政に届きやすくなるようなホットラインを構築する。②宝である子どもたちが「五城目で遊んで楽しかった」と思い出に残るような施設を建設する。③悪口や誹謗中傷はしない。仕事としては何にでもチャレンジしていきたい。

町長へこれからの 町政を問う

石井 荒川町長が掲げる「5本の柱と45の施策」の中で①早期に叶えたい施策②必ず成し遂げたい施策③これだけはやりたくない内容は何か。

障がい者の 人権は

石井 「障がい者」という言葉を町独自の言葉に置き換えられないか。本人の困りごとが無くなるわけではないが、新たな視点を持つことで、今までと違った支援の形が生まれるのではないか。



子どもたちの郷土愛を育む風景

町長 新たな言葉への置き換えはポジティブな視点を与えてくれる可能性を秘めていると感じるが、一般的に使われている「障がい者」という言葉は必要な言葉であるため変えることはできない。
石井 言葉によって人々を分断することがない社会を。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



いとう のぶこ
伊藤 信子

一般質問動画はQRコードから



伊藤 買い物弱者・買い物困
難者は、社会課題として取り

沙汰されている。少子・高齢
化、過疎化は、地元小売業の
廃業にも繋がり、地域での生
活の存続を左右するほどの課
題である。
農協では、富津内・内川・
馬場目地区の3ヶ所に移動購
買車「とうこちゃん」を稼働
させている。
今後、町として農協とどの
ように連携していくのか、稼
働する上でのソフト面（人的

支援など）のサポート、また、
資金的援助についてはどのよ
うに思われているか、お聞き
したい。

町長 町では、乗合タクシー
やマイタウンバスにより、町
民の買い物支援しているが
今後は、JAあきた湖東と連
携し、買い物困難者対策を強
化したい。
近日中午にJAあきた湖東と
協議を行いたい。

前回までの実行委員だけで
は考えられない、若い世代の
考えを取り組むためにも、町
の職員を中心とした実行委員
会づくりが出来ないか、お聞
きたい。
町長 今後、新たに実行委員
の体制が確立され、このよう
な大会が企画立案された場合
には、資金援助も含め、後援
のあり方を判断したい。

申告相談所に テレビを

伊藤 申告相談の際、役場会
議室での受け付けが終わって
から、2時間以上も待ってい
る人がいる。その中には、テ
レビがあればいいと思ってい
る人もいる。毎年行われるこ
となので、住民サービスの一
環として考えてみてはどう
か。

町長 必要に応じて、役場1
階の玄関ホールや売店に設置
しているテレビを利用して
いただきたい。現在は会場には
町広報などを配置し、対応し
ている。

買い物弱者支援を

町長 JAあきた湖東と協議する



買い物と会話を楽しむ住民



移動購買車「とうこちゃん」

朝市マラソン 復活へ

伊藤 朝市マラソン復活につ
いては、今後新たに実行委員
会を立ち上げるにあたり、高
齢化、スタッフ不足、予算不
足という課題がある。

陳情と 意見書

3月定例会では2件の陳情
を採択し、意見書を添えて関
係機関に送付した。

採 択
「選択的夫婦別姓
制度の導入を求め
る意見書」採択に
関する陳情書

陳情者

秋田弁護士会
会 長 石田 英憲

採 択
「最低賃金法の改
正と中小企業支援
の拡充を求める意
見書」の採択を求
める陳情書

陳情者

秋田県労働組合総連合
議 長 高野 智子
秋田県春闘共闘懇談会
代表委員 奥井 明子

不採択
「デジタル・ペーシ
クインカム導入に
関する意見書の提
出についての陳情書

陳情者

大館市 渡部 道正

不採択

地方自治を無視する
国に沖縄との対話を
求める意見書の提出
に関する陳情

陳情者

沖縄に回答する会@あきた
代 表 兵藤 知子

賛成

石井

光雅 佐々木仁茂

反対

石井

和歌子 小玉 正範

伊藤

信子 中村 司

佐沢

由佳子 石川 重光

松浦

真 工藤 政彦

椎名

志保 斎藤 晋

館岡

隆

可 決

五城目町議会の個
人情報の保護に関
する条例の一部を
改正する条例制定
について

改正内容

「行政手続における特定
の個人を識別するための番
号の利用等に関する法律」
と「刑法」の一部改正に伴
い、当該条例の一部を改正
するもの。

議会運営委員長
佐々木仁茂

第1回臨時会

令和7年1月27日

付議案件

1. 工事請負契約の締結につ
いて

●令和5年災 廣徳寺橋橋
梁災害復旧工事（上部工）

2. 専決処分（第11号）の承認
を求めることについて

●令和6年度一般会計補正
予算（第6号）

・非課税世帯への給付金事
業 5260万円

・非課税世帯への灯油購入
費助成事業1022万円

・生活応援商品券事業（全
町民対象）8619万円

3. 令和6年度一般会計補正
予算（第7号）

・除雪事業 5000万円

全議案を全会一致で可決、承
認した。

報告案件

○ごみ処理広域化の基本協定書
（案）について

秋田市、潟上市、男鹿市、
五城目町、八郎潟町、井川
町、大潟村がごみ処理を連携
し行うため、「秋田市・潟上
市・八郎湖周辺清掃事務組合
ブロック広域化協議会」を設
置し、今後協議を進める。

第1回 議会議員全員協議会

令和7年3月10日



改築し、共同運用される秋田市総合環境センター



町議補選当選者

石井和歌子
（新 里）

教育民生常任委員
議会広報編集委員

監査委員の選任に同意

新任

松橋 嘉則氏（63歳）
（湯ノ又）

令和7年6月14日より、
任期は4年

（椎名 志保）

あれ

シリーズ ついせき 125

なんとなつたべが!

令和6年3月定例会一般質問より

問

除雪作業オペレーターの技術向上を図るため、研修会の必要があると考えますがどうか。

1年前の答弁

登録業者には、除雪作業の講習会をすすめて、技術力の向上を働きかけていく。また、オペレーターの確保は喫緊の課題であり、契約業者と協力しながら問題解決に尽力したい。

現在

昨年の除雪会議開催時、登録業者に対して講習会の案内をし、8月に各業者へ案内チラシを配布。引き続き講習受講を促し、技術の向上を呼びかける。オペレーターは、今年度登録業者が1社増え、現在10社41名の体制で除雪を実施している。

問

「一歳児に五城目のイス贈呈」はどうだったのか。

1年前の答弁

木材の提供を含めた実施の可能性を検証し、木種の選定とデザインなど関係機関と引き続き協議を進める。

現在

現状では事業化までは至っていない。イス贈呈事業で子どもたちに何を伝えていくのかも協議を継続。デザインのにも、どのようなイスが一歳児に適しているのか。対象年齢は一歳児のみでいいのかという議論も必要。



どうなる木製イス

問

町内外の子どもたちが、いつも自由に遊べるような場所は町にはないのか。

1年前の答弁

公園の遊具はほとんどが修繕を要し、使用できない。公園・遊園地の集約を検討する必要性があり、公園整備を行うことを協議していく。

現在

令和6年度は五城目町こども計画策定の年であり、子育て世代のアンケート調査やワークショップ、パブリックコメントなど、様々な方法で広く町民の意見聴取を実施し、計画への反映に努めている。目標の達成に向け努力していく。



町にも安全な遊具を

問

高齢者と若者が協力し、耕作放棄地や里山に、山菜やキノコを栽培できないか。

1年前の答弁

耕作放棄地は増加傾向にあり、その再利用は喫緊の課題ととらえる。若者のアイデアと高齢者の技術を合わせることが、様々な問題を解決できる可能性がある。

現在

耕作放棄地について適した作物の奨励、補助の活用などで、拡大に歯止めをかけた。現在は、新規作物に取り組める方々と接触できていない。栽培環境の構築と販売作物の選定から栽培まで、若者とのマッチングなどから活路を得たい。



春の山菜

ようこそ議会傍聴へ



3月定例会は荒川町長就任後、初の議会となり、新年度の施政方針説明が行われた初日から団体始め多くの町民が傍聴に訪れました。

傍聴者は年々増えており、令和4年度は延べ82名、5年度は132名、6年度には177名にのびりました。

率浦大学の皆さん

町長や教育長の考えを聞くことができ、新鮮だった。
各常任委員長報告も傍聴してみたい。
小玉 哲司さん(館町)



町民の皆さんももっと傍聴に足を運び、議員の活動を知るべきだと思った。
椎名百合子さん(富田)

大川地区公民館の皆さん

初めて傍聴した。
町が良い方向へ向かうという期待が持てた。
北島 弘宇さん(大川)



女性議員が4人になり、今後の活躍に期待したい。
笹川 昇子さん(下樋口)

傍聴後には、町内の食事処でお昼をいただきながら感想を語り合うなど、議会が身近な存在になっているようです。

令和7年度も、皆さんのお越しをお待ちしております。



サテライト会場も設置

意義ある発言機会は大事な議員活動の場といえます。 **議会を傍聴してみませんか?**

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

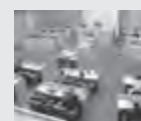
①役場4階へ上がります。
(エレベーターをご利用ください)



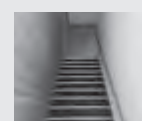
②議会事務局前で受け付け。
(受付表に必要事項を記入)



④町の方向性を直接聞くことができます。
(開会中はお静かに願います)



③階段で傍聴席へ。
(定員40名)



(椎名 志保)

わたしの居場所

おしゃべりに花咲く手仕事時間

していますか？



手芸グループ
『はたちの会』

町へのつばやき

・乗り合いタクシーを便利に
使えてありがたい。病院の
帰りは、薬局に行くなど時
間が読めず調整が難しい。
・隣近所、一人暮らしが多く
なり寂しい。

手芸グループ『はたちの会』
は、渡辺律子先生（岡本二区）
を中心に会員は12名。月2回、
午前10時から午後3時まで朝
市ふれあい館にて、パッチ
ワークや編み物など、思い思
いに創作活動をしています。
平成20年に『はたちの会』
と名付けました。30数年前に
森山公民館で始まった手芸教
室が開催場所やメンバーが入
れ替わりながらも続いています。

ほとんどが一人暮らしで、
おしゃべりしながらみんなで
昼食をとるのが何よりの楽し
み。手芸を通じ交流を深め、
元気をもらえる大切な居場所
となっています。



（佐沢由佳子）

がんばってます

大好きなバスケット



五城目小学校
6年

杉本 □□さん

ほか、今頑張っているこ
とは、バスケットボールです。
先生のすすめで、2年生の時
にミニバスケットボールクラ
ブに入りました。そして今、
特に頑張っている事が二つあ
ります。

一つ目は、個人の技術力の
アップです。ぼくはいざと
なった時に、すぐドリブルミ
スをしたり、ミスをしなかつ
たとしてもなかなかシュート
が決まりません。しかしこれ
からは6年生として、どんど
んシュートを決めていかなけ
ればならないので、もっと練

習をして、大事な時でも冷静
にシュートを決めることがで
きるようになりたいです。

二つ目は、チームをまとめ
る事です。ぼくは新チームの
キャプテンになりました。今
はまだ、なかなかまとめあげ
る事ができていません。時に
優しく、時にきびしく、新チー
ムをまとめあげていきたいで
す。

これから大好きなバスケ
を続け、全国大会に出場でき
るように、チーム一丸となっ
てがんばります。



（伊藤 信子）

編集後記

3月定例会は荒川新町
長として初議会となりました。

一般質問では、偶然に
も私がトップバッターを
務め、10名が登壇しまし
た。なぜか町長以上に緊
張している自分がいまし
た（苦笑）。

議会傍聴に足を運んだ
り、ちよつと時間を割い
て議会映像（QRコード
から）をご視聴いただけ
れば、紙面では伝わらな
い議会の雰囲気や臨場感
が伝わってきます。

「みんなの町議会」は、
限られた紙面の中で、町
民の皆様にはわかりやす
く、手に取って読んでも
らえるよう努めてまいり
ます。

議会広報編集委員

中村 司 記

